

# 第4回 ITS シンポジウム 2005 Advanced Program

開催日: 2005年12月1日(木) ~ 2日(金)

会場: 東京大学 生産技術研究所  
駒場 総合研究実験棟 2階 コンベンションホール  
〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1

主催: ITS Japan

共催: 東京大学生産技術研究所 先進モビリティ連携研究センター

協賛: (社)計測自動制御学会、(社)交通工学研究会、(社)自動車技術会、(社)情報処理学会  
(社)人工知能学会、(社)電気学会、(社)電子情報通信学会、(社)土木学会、(社)日本機械学会  
(社)日本ロボット学会、情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会  
情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会、電子情報通信学会 ITS 研究会  
電子情報通信学会パターン認識・メディア理解研究会

## 12月1日(木)

09:00- **開場**

09:30-09:40 **開会式**

09:40-11:10 **論文発表セッション 「事故・安全」**  
**座長: 安井一彦 (日本大学)、田久保宣晃 (科学警察研究所)**

O1-1 複数の車載カメラによる鳥瞰監視システムの提案  
楊長輝 (三洋電機)

O1-2 重交通量トンネルにおける交通異常検出の精度向上  
田沢誠也 (首都高速道路)

O1-3 人間・自動車系の動特性に適合するステアパイワイヤシステムに関する研究  
永井正夫 (東京農工大学)

O1-4 車両反応時間と車間距離を同時に考慮した車群追従走行の安全性評価  
鈴木 宏典 (日本自動車研究所)

O1-5 大規模事故データからの事故要因知識発見-不確定データ空間の多次元探索による仮説生成-  
藤平健二 (東京大学)

11:10-11:20 **休憩**

11:20-12:40 **オーガナイズドセッション 「安全」**  
**オーガナイザ・司会: 津川定之 (名城大学 教授)**

向殿 政男 (明治大学 教授): 「リスクアセスメントとその実際」

鎌田 実 (東京大学 教授): 「ヒヤリハットデータ収集・分析による事故防止への取り組み」

山田 喜一 (日本自動車研究所予防安全研究部): 「自動車の予防安全システムの効果とリスク」

津川定之 (名城大学 教授): 「車両安全通信」

12:40-13:40 **昼食**

13:40-15:40 **ポスターセッション** **9月30日版プログラムから座長が変更になりました**  
**鈴木高宏 (東京大学)、影沢政隆 (東京大学)**

P1-1 高知における IT 技術を用いた路面電車の安全対策に関して  
松本 修一 (高知工科大学)

P1-2 付加車線の車線利用率は正効果に関する影響要因の実証的研究  
渡辺 亨 (交通事故分析センター)

P1-3 先進デマンドバスシステムの構築  
林田守正 (交通安全環境研究所)

P1-4 上郷 SA スマートIC 社会実験の効果分析  
藤田素弘 (名古屋工業大学)

P1-5 冬期の道路サービスの向上施策とその評価  
菊池恵子 (秋田大学)

- P1-6 サイクリング情報システムに対する利用者評価の実証的分析  
周藤浩司 (中電技術コンサルタント株式会社)
- P1-7 バスロケーションサービスに基づくバス停間所要時間予測  
成松 裕介 (熊本大学)
- P1-8 道路管理支援システム (MDSS) における吹雪情報の活用  
松沢 勝 (北海道開発土木研究所)
- P1-9 車両軌跡データを用いたコンフリクト指標に基づく危険事象発生プロセスの考察  
八木 裕介 (京都大学)
- P1-10 混雑料金システム下における逐次経路変更・出発時刻調整行動の室内実験による分析  
劔崎聖生 (東京大学)
- P1-11 地方都市での MODERATO-E 信号制御方式導入による効果  
椿 孝一 (山口県警察本部)
- P1-12 地方都市圏の高速道路料金通勤割引制度における均衡分析  
應江黔 (岐阜大学)
- P1-13 路車協調システムを活用したカーブ区間における安全走行支援サービスの社会実験結果について  
牧野浩志 (国土技術政策総合研究所)
- P1-14 一括割り当て型 DRT 運行計画システムの開発  
堀場詳二 (京都大学)
- P1-15 首都高速道路箱崎ロータリー近傍におけるビデオ画像データを用いた渋滞発生メカニズムの分析  
船岡 直樹 (パシフィックコンサルタンツ)
- P1-16 リアルタイム交通監視システムで用いる意味階層構造  
劉 小路 (東京大学)
- P1-17 安全運転管理教育システム (ASSIST) における指導方法の改善 - 新しい自動車運転事故防止の理論に基づく管理・教育型 ITS -  
浜田 裕幸 (九州産業大学)
- P1-18 ASSIST における携帯メールによる安全運転の管理・教育- 新しい自動車運転事故防止の理論に基づく管理・教育型 ITS -  
合志和晃 (九州産業大学)
- P1-19 Evaluation of Bus Lane Policy by Microscopic Simulation Model  
Madhu Errampalli (岐阜大学)
- P1-20 需要交通量の時間的変化を考慮した時間帯別混雑料金に関する分析  
小川 圭一 (立命館大学)
- P1-21 都市間高速道路と鉄道新線の連携による首都高速道路の混雑解消施策の可能性  
内山 久雄 (東京理科大学)
- P1-22 冬季道路管理業務への可視画像式路面センサの活用  
平井節夫 (国土技術政策総合研究所)
- P1-23 自動車最高速度制御による ITS のパラダイムシフト -ソフトカー・プロジェクトを踏まえて-  
小栗幸夫 (千葉商科大学)
- P1-24 駐車管理のための路上駐車帯設置効果の評価 ~ 複合現実感交通実験スペースを活用した効率性・安全性分析  
田中伸治 (東京大学)

**15:40-15:50 休憩**

**15:50-17:20 論文発表セッション 「アーキテクチャ・プローブ」  
座長: 野崎敬策 (交通ジャーナリスト)、森川高行 (名古屋大学)**

- O2-1 DSRC 応用サービスのためのセキュリティプラットフォームの開発  
丸岡 寛 (道路システム高度化推進機構)
- O2-2 ドライバの運転状態検知・監視 2 視線検出と脇見検知への適用  
鳥山 将司 (名城大学)
- O2-3 プローブの走行パターンを利用した統合型車載機での異常渋滞判定アルゴリズムの開発  
堀口 良太 (アイ・トランスポート・ラボ)
- O2-4 ドライビングシミュレータの旋回運動性能向上によるドライバの運転挙動に関する研究  
須田義大 (東京大学)
- O2-5 ドライバー挙動モデルの開発  
加納 誠 (東京大学)

**17:30-19:00 バンケット 同会場 フォワイエにて**

12月2日(金)

08:30- **開場**

09:00-10:30 **論文発表セッション 「交通管制・交通計画」**  
**座長：朝倉康夫（神戸大学）、上野秀樹（東芝）**

- O3-1 プローブデータを用いたタクシー挙動の分析  
吉井稔雄（京都大学）
- O3-2 "RFID タグを電子道路標識とした車内標識提示システムの構築と検証"  
佐藤 義通（宮城大学）
- O3-3 速度分析を通じた運転支援, シミュレータのパラメータ, 道路設計への提言  
割田 博（首都高速道路）
- O3-4 交通シミュレーションを用いた定期的に更新される経路誘導システムの効果分析  
金俊鏞（埼玉大学）
- O3-5 高度デマンド信号制御方式と系統制御方式の性能比較  
麻生敏正（埼玉大学）

10:30-10:40 **休憩**

10:40-12:10 **オーガナイズドセッション 「プローブ」**  
**オーガナイザ・司会：植原啓介（慶応義塾大学大学院 特別研究助教授）**

- 平井 節生（国土技術政策総合研究所 ITS 研究室室長）:「ITS セカンドステージにおけるプローブ」
- 三輪 富生（名古屋大学大学院 研究員）:「プローブ情報を活用した動的経路案内システムの研究開発 - P-DRGS コンソーシアムの取り組みと展望 - 」
- 柘植 正邦（本田技研工業）:「フローティングカーシステムの実用化と効果について」

12:10-13:10 **昼食**

13:10-15:10 **ポスターセッション** 9月30日版プログラムから座長が変更になりました  
**座長：田中伸治（東京大学）、高橋良至（東京大学）**

- P2-1 2.4GHz 帯を用いた場所検知システムの開発  
河野 実則（アール・シー・エス）
- P2-2 ドライバの制動動作解析に関する一考察  
鷲野 翔一（鳥取環境大学）
- P2-3 視覚フィルタによる道路交通標識の実時間認識  
馬場 今日子（筑波大学）
- P2-4 プローブデータを用いたバス運行状況の評価と道路交通特性の影響分析  
田村 博司（京都大学）
- P2-5 Time-To-Collision はブレーキ操作タイミングを決定するか  
森田 和元（交通安全環境研究所）
- P2-6 電気自動車の設計・製造・解析・制御の学習による工学  
坂本 東男（高知工科大学）
- P2-7 高速道路サグ部における円滑化 AHS 評価用交通シミュレータの開発  
花房 比佐友（東京大学）
- P2-8 ドライバの運転視力測定システムと高齢者の視野測定  
高木佳哉（名城大学）
- P2-9 ウェブサイト運営を通じた北の道のニーズ分析とブランドづくり  
加治屋 安彦（北海道開発土木研究所）
- P2-10 画像処理による交通量計測システムの開発と性能検証  
鈴木一史（名古屋大学）
- P2-11 ドライバの運転状態の検知・監視 1 - 携帯通話に伴う思考集中の検出 -  
高橋 健一（名城大学）
- P2-12 ドライバの運転視力測定システムと高齢者の動体視力・深視力測定  
萩尊史（名城大学）
- P2-13 車両空間適合型追突防止ファジィ制御の基礎特性  
羽山 祐司（日本大学）

- P2-14 3眼視ステレオによる走行環境中移動障害物の検出  
陸 哲元 (熊本大学)
- P2-15 City Range Data Analysis  
トウ 利洪 (東京大学生産技術研究所)
- P2-16 DSRC によるアップリンク情報を活用した走行支援サービスの検討  
牧野 浩志 (国土技術政策総合研究所)
- P2-17 スマートICの社会実験  
平井節夫 (国土技術政策総合研究所)
- P2-18 ユーザ知識と交通情報に基づく経路選択の基本モデル  
本多 建 (東京大学)
- P2-19 M-CubiITS における車両走行測位実験  
金帝演 (埼玉大学)
- P2-20 視覚障害者誘導用ブロックを用いた WYSIWYAS 歩行者ナビゲーションシステムの構築と実験  
山下 清司 (埼玉大学)
- P2-21 障害者等ITバリアフリープロジェクト - 歩行者誘導用統合端末の開発 -  
鎌田 実 (東京大学)
- P2-22 カーブおよび直線道路区間における有効視野の基礎的検討  
近野 淳一 (宇都宮大学)

### 15:10-16:10 招待講演

森川高行 (名古屋大学大学院 教授)

### 16:10-16:20 休憩

**16:20-17:30 論文発表セッション 「地図技術」**  
座長: 関本義秀 (国土技術政策総合研究所)、東重利 (トヨタ自動車)

- O4-1 時空間連続観測車両による周辺走行車両の走行挙動計測  
小宮粹史 (千葉工業大学)
- O4-2 GPS 携帯端末による交通モード自動判定法の開発  
前司敏昭 (千葉工業大学)
- O4-3 高精細三次元データと航空画像を用いた建物変化検出  
中川 雅史 (産業技術総合研究所)
- O4-4 画像ベースレンダリングによる高速道路サグ区間における運転シミュレーション映像の生成(計画概要)  
小野 晋太郎 (東京大学)

### 17:30-18:00 論文賞授与式・閉会式

## 参加申込み

ITS Japan ウェブサイト <http://www.its-jp.org/> よりお申込みください。事前登録は 11 月 21 日(月)にて締め切らせていただきます。その後は会議当日現地にてご登録ください。

- \* 事前登録 一般会員 18,000 円 / 一般非会員 23,000 円 / 学生: 8,000 円
  - \* 当日登録 一般会員 25,000 円 / 一般非会員 30,000 円 / 学生: 10,000 円
- バンケット参加費: 一般は参加登録費に含みます。学生の方は 2,000 円いただきます。

参加費支払方法: 銀行口座振込 三井住友銀行日比谷支店 普通 8226220  
口座名: 特定非営利活動法人 ITS Japan

キャンセルについて: 2005 年 11 月 21 日(月)までにお願いたします。これ以降のキャンセルは、参加登録費を請求させていただきます。

## 問合せ先

ITS Japan 国際グループ 井出晴子  
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル 3F  
TEL: 03-5777-1013 FAX: 03-3434-1755